



おらだの声

＊こんにちは！認知症地域支援推進員です＊

認知症地域支援推進員をご存じですか？

認知症になっても住み慣れた米沢で自分らしく暮らしたい！

認知症の人を介護しながら、自分の生活も大事にしたい！

などの声に寄り添いながら、医療や介護・福祉の専門職と連携し、スムーズな支援ができるよう相談業務等を行っています。

この「おらだの声通信」は認知症に関する活動やそこで出会った方々の“声”を地域の皆さんに届けるものです。

認知症サポーター養成講座の普及・啓発をしています！

認知症カフェなどの活動支援をしています！

認知症の人や家族の声を集め、通信にてお知らせします！

認知症の人や家族等からの相談を受け、必要に応じて認知症初期集中支援チームへつなぎます！

医療・介護・地域の支援機関等とのネットワークづくりをしています！



認知症の情報をまとめた認知症ケアパスを作成します！

※ 認知症ケアパスは、認知症発症から生活機能障害の進行に合わせた医療や介護サービスの情報等が記載されています。

お気軽にご相談ください♪

認知症地域支援推進員は、各地域包括支援センターに配置されています。

事業所名	電話番号
米沢市 高齢福祉課 地域包括支援担当	22-5111
米沢市社会福祉協議会地域包括支援センター	24-4165
成島園地域包括支援センター	37-6667
サンファミリア米沢地域包括支援センター	26-8170
おいたまの郷地域包括支援センター	36-0363

認知症カフェって・・・？

認知症カフェは、認知症の人とその家族、地域住民や専門職なども参加して、お茶を飲みながら話をしたり交流を深めることができます。現在、米沢市には6つの認知症カフェがあります。この通信で随時ご紹介していきます。今回は、たまカフェの様子をご紹介します。



たまカフェ

おいたまの郷主催で
年に4回開催中です。



5月24日、上郷コミュニティセンターで 「たまカフェ」が開催されました。

今回は、昔の体験や思い出を語り合う心理療法の一つで「回想療法」が行われました。テーマは「6月といえば」。

ほっこりするエピソードや楽しく合唱もあり、参加者の笑顔がとても印象的でした。

「今まで家族の介護をしてきた。一人でのことも多く、何気なく始めた絵画が今の楽しみになっている。声をかけてもらえてよかった。」との声も聞かれました。



今後の生活に
役立つ情報もたくさん
ありました。

認知症の人をやさしく包む愛と義のまちづくり『認知症サポーター』

超高齢化社会を迎えようとしている日本高齢者の4人に1人は認知症・認知症の予備群と言われています。自分の身近な人が認知症になる可能性が十分に考えられます。

認知症サポーターとは、『認知症サポーター養成講座』を受講し、認知症について学び、正しい知識を持って認知症の方やその家族を見守る支援者です。今後も、認知症になっても安心して暮らせる米沢市を目指して出前講座を開催し、認知症サポーターを増やす取り組みを行っていきます。認知症サポーター養成講座受講は5名以上で申し込みができます。講座時間はおおむね1時間から1時間30分程度で費用は無料です。受講すると、サポーターの証としてオレンジリングが渡されます。

受講希望の方は、米沢市高齢福祉課地域包括支援担当までご連絡下さい。

TEL 22-5111 内線 3907



米沢市 認知症サポーター数
8000名(R3.5.31 現在)